

「自分の進路につなげよう」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学ぶ力
他者とかかわる力, 自己形成力

単元について

1 生徒観

本学年の生徒は、1年次より日頃の授業や集会などで自分の思いや考えを意欲的に発表できる生徒が多く、総合的な学習の時間の後期の単元で行ったスピーチ大会等でも、多くの生徒が学んだことを積極的に発信することができた。しかし、課題発見・解決学習の学習過程に係る意識調査では、表から分かるように、「情報の収集」、「整理・分析」の場面における項目が低い。このことから、本校が育成を目指す資質・能力のうち、相手を納得させるような根拠を明確にした意見を述べるといった「思考力・判断力・表現力」や課題解決のために自らの考えを整理するといった「主体的に学ぶ力」に課題がある。さらに、資質・能力の意識調査でも、「思考力・判断力・表現力」の項目について、「相手に分かりやすく伝える力」が他の資質・能力に比べ、全校生徒平均における肯定的評価の割合が低かった。

表 校内生徒アンケート結果

		アンケート項目	2学年	全校生徒平均
課題発見・解決学習	情報の収集	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	57.7	57.6
		授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	69.7	67.0
	整理・分析	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめて分析しています。	61.1	62.5
		授業では、情報を比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見付けたり（関係付け）して、何が分かるのかを考えています。	71.6	72.2
資質・能力	【思考力・判断力・表現力】 相手に分かりやすく伝える力	70.6	69.1	

(平成28年6月27日 第2学年241名)

2 単元観

第2学年の総合的な学習の時間の学習単元は前期「地域理解・社会貢献」、後期「自己探究」と位置付けている。前期単元を通して、地域で働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、人と共に働いていくうえで、今の自分に足りない力や心を把握していき、自らの職業観や勤労観を育み、その成果を生活の中で生かそうとする学びの中で資質・能力及び態度を育てることをめざした。本単元は、前期単元で「働くこと」について考えたことを振り返り、他の生徒との意見や感想を交流する。そのことを通して、さらにこれまでの自分の考えを深め今後の生活や進路設計につなげるために、パネルディスカッションを行うことで身に付けさせたい資質・能力及び態度を育てることをめざしている。

この学習活動のために、本単元では課題を2つ設定している。具体的には、1つ目は【Mission1】として、職場体験活動を振り返り、体験前と体験後の「働くこと」について、自分の考えをイメージマップにまとめたものを比較し、そこから「働くこと」について、特に大切なことは何かを絞り自分の考えを明確にすること。2つ目は【Mission2】として、色んな情報にふれる場面を設定し、考えを共有することを通して、新しい価値観を生み出すことである。自分の伝えたい内容を選び、分かりやすく伝えることや、相手の意見をしっかりと聞いて自分の考えを整理することなど主体的に学ぶ力を育てたい。この2つの課題を通して、生徒は「働くこと

とはどういうことか」について、自らが学んできたことを、これからの生き方につなげていこうとする態度や価値観・倫理観も高まっていくのではないかと考えこの単元を構想した。

3 指導観

主体的に学ぶ力を育てるために今回は多くの考えにふれて自分の考えを整理する活動や思考場面を仕組む。具体的には、個人からグループにさらに学級、学年と広げた活動を行う。また、単元を通して、「根拠を明確にし、相手に分かりやすく伝える力」を身に付けさせるために、次のことに留意する。

「情報の収集、整理・分析」における学習過程では、朝学活の時間を使ってテーマについて意見を発表する場面を設定し、説得力のある発表の仕方 **（例）要素1：根拠が明確であり筋道が通っていること、要素2：相手に理解されること、要素3：相手が納得すること、要素4：簡潔であること** 等を視点に練習をさせる。また、情報元の例を提示し、情報を集める方法を理解させ、多くの情報の中から「必要な情報を取り出す力」を身に付けさせる。そのために、意見文を考える際に下記のような4段階でスパイラルに学習させ、自己の考えをより深めさせるとともに、今後の生活や進路設計につなげさせたい。

- 1段階目**：まず自分の立場を決定し、最も自分の意見に合った的確な理由や根拠をしばり込み予想される反論とそれに対する考えをまとめさせる。（個人思考）
- 2段階目**：立場ごとにグループ分けし、それぞれの意見文を交流させ、自己の主張に対する根拠が相手を納得させるものであるかを検証させる。お互いの意見文の中でもっとも説得力のあるものをグループ内で1つ選び疑問や反論を想定し、学級内パネルディスカッションに向けて意見文を推敲する。（グループ思考）
- 3段階目**：さらに、学級ごとに代表パネリストを選出し、学年パネルディスカッションに向けて意見文を推敲する。（学級思考）
- 4段階目**：最後に代表パネリスト同士学年パネルディスカッションで意見を交流し、その後生徒全員で交流する。（学年思考）

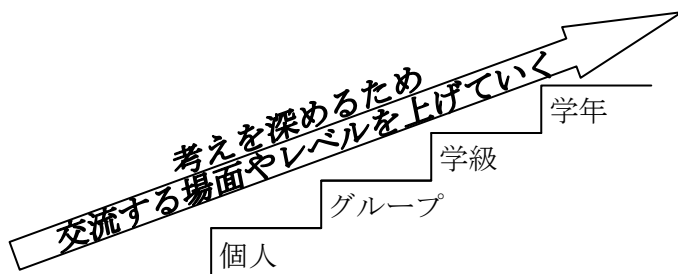


図 本単元で「働くこと」への考えを深めるための段階

単元の目標

前期の職場体験学習を振り返り「働くこと」についての定義づけを議論することを通して、働くことについての価値観や倫理観を深め、今後の生活や進路設計につなげようとする態度を養う。

育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度		評価規準	
知識	知識・技能	知	①パネルディスカッションの方法を理解し実践することができる。
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①集めた情報をもとに自分の考えをまとめることができる。 ②相手に、伝えたい内容を精選し、相手に分かりやすく伝える工夫をしている。
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①職場体験学習を振り返り、「働くこと」について自己の考えを深めようとしている。 ②相手の意見をしっかり聞いて、自分の考えを整理しようとしている。 ③パネルディスカッションに主体的に参加し、自分の考えを深めたり、新たな考えを見いだしたりしようとしている。
価値観倫理観	他者とのかかわる力	他	①「働くこと」について学級の中で他者と話し合うことができている。 ②「働くこと」についての意見をグループ内で共有し、話し合うことができている。 ③グループで協力してよりよい意見文を作成することができる。
	社会貢献力	社	
	自己形成力	自	①単元を振り返り、「働くこと」についての自分の考えを持ち自分の進路につなげようとしている。

単元と評価の計画

1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「働くことと向き合おう」 (58時間)						「自分の進路につなげよう」 (12時間)					
	地域理解・社会貢献						自己探究					

2 単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連	
「自分の進路につなげよう」	課題の設定	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験について振り返り、体験前と体験後の「働くこと」への考えの変化を発表する。 ・映像を見て当時のこと（職場体験）を思い返す ・実習ノートの感想や体験後の記述アンケートを読み返し、クラス内で意見を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ブレインストーミングにより「働くこと」からイメージできることをイメージマップにまとめる。 ○クラスで「1番大切なことは」というテーマで意見をグループ分けし、グループ内で深め合う。 	【主-①】 (行動観察) (自己評価表)		
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内でさらに意見を深める ・他のグループが納得できる理由付けを考える ・グループで理由付けの根拠となる情報を集める。 <ul style="list-style-type: none"> ○集めた情報をもとに個人で整理・まとめをする。 	【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔技術 必要な情報を適切に収集・整理する	
		4	<ul style="list-style-type: none"> ○集めた情報をもとに個人で整理・まとめをする。 ・個人で意見文をまとめる。 	【思-①】 (行動観察) (意見文)	⇔国語 根拠を明確にして意見を書く	
	情報の収集 整理・分析	まとめ・創造・表現	5	<ul style="list-style-type: none"> ○各自の意見文をグループ内で交流し、パネラーを1人選出する。 ・代表者の意見文をグループ内で推敲する。 	【他-②】 【思-②】 (行動観察) (自己評価表)	
			6 7	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス内でパネルディスカッションを行う。 ・司会者を中心に各グループの代表者（パネラー）がディスカッションをする。 ・他の生徒はパネラーの意見を聞き、感想や意見を交流する。 ・学年でのパネルディスカッションに向け、クラスの代表者を選出する。 	【知-①】 【主-②③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔国語 話し合っって考えを広げる
		8 9	<ul style="list-style-type: none"> ○パネルディスカッションのモデルを聞かせる。 ○代表者の意見をクラスで推敲する。 	【思-②】 【他-③】 (行動観察) (発言内容)		
		10 11	<ul style="list-style-type: none"> ○学年でパネルディスカッションを行う。【本時】 ⇒各パネラーの意見を聞き、自分の考えをさらに深めることができたか ・他の生徒はパネリストの意見を聞き、感想や意見を交流する。 	【主-③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔国語 話し合っって考えを広げる	
	振り返り	12	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を通して学んだことを振り返る。 ・パネルディスカッションの評価をもとに振り返りを行い、次年度の進路選択につながるようまとめをする。 	【自-①】 (行動観察) (自己評価表)		

本時の学習展開

1 本時の目標

パネルディスカッションを通して、パネリストの意見を聞き、自分の考えをさらに深めることができる。

2 本時の評価規準

評価規準	本時でめざす生徒の姿	
パネルディスカッションに主体的に参加し、自分の考えを深めたり、新たな考えを見いだしたりしようとしている。	A	パネルディスカッションでは、自分の考えと他者の考えを比較・整理し、「働くこと」について、自らの考えを深め、新たな考えを見いだすことができた。
	B	パネルディスカッションでは、自分の考えと他者の考えを比較・整理し、「働くこと」について、自らの考えを深めることができた。
	C	パネルディスカッションでは、自分の考えと他者の考えを比較し、「働くこと」について、自らの考えを整理することができた。

3 学習展開（10, 11限目/12）

実行

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しをもつ。	①本時では、生徒主導で全て授業を進行させるため、事前に本時のめあてと評価基準を確認しておく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 【本時のめあて】 パネルディスカッションを通して、パネリストの意見を聞き、自分の考えをさらに深めよう。 </div>			
展開①	2 パネリストが意見発表をする。 ①司会者が本時の概要を説明し進行する。 ②パネリストによる意見発表 ③パネリストによる討論 ・長所と問題点を明確にする。	①司会者にあらかじめパネリストの原稿を渡しておく、進行の流れを掴ませておく。また、事前に体育館で、司会進行のロールプレイを行い、イメージを持たせるとともに、進行の修正等においても教員と確認しておく。 ②時間を守らせる。 ・事前指導にて、一人3分以内の発表にさせる。 ・パネリストの声が拾えるよう、6人のパネリストの前に集音マイクを準備しておく。 ③討論の際以下のルールで進行する。 (ア) 挙手で意見を述べる (イ) 司会に指名されて発言する (ウ) 質問や反論された場合には司会者の指名がなくても答える (エ) 司会者は話が落ち着けば次の意見を求める ・パネリストには、自分の意見に対する反論や質問に対する想定を事前に立て、それに対応できる回答を準備させておく。	パネルディスカッションに主体的に参加し、自分の考えを深めたり、新たな考えを見いだしたりしようとしている。 【主-③】 (行動観察) (自己評価表)
展開②	3 フロアの生徒も交えて討論をする。 ①司会者が論点を整理して、討論が活性化するようにフロアの生徒を指名したり、発言を促したりする。 ②フロアの生徒も自分の立場を明確にして、その上で相手の意見に補足、質問や反論をする。	・フロアの生徒の発言について、パネリストの討論の中身について発言できるよう事前指導を行うとともに、司会にもそのことを踏まえたうえでの進行を行うことを確認しておく。	
まとめ	4 本時のまとめをする。 ①パネリストが討論を通じて考えが広まったり深まったりしたことをふまえてまとめの発言をする。 ②司会は討論全体をまとめる。	①発表の前に、自己評価表に、自らの考えが広まったり深まったりした点を具体的に文章でまとめる時間をとる。 ②討論後、最初の自分の意見と比べ変化したこと、さらに考えが深まったことを書かせ、発表させる。 ★到達させたい生徒の発言の姿(例) ・私は、〇〇という考えでしたが、□□さんの意見を聞いて、△△というように考えが変わりました。 ・僕は、△△君の意見から、〇〇という考えを知り、□□に対して考えが深まりました。	